

楽々農業楽しみま専科事業

取組に至る背景・事業の目的

- 岡谷市の農業は高齢化、担い手不足、鳥獣害等により優良農地の遊休・荒廃化が進み、農業を取り巻く環境は大変厳しく、問題解決に向け様々な課題に取り組む必要がある。
- 農地法の改正により、農地の貸し借りの促進が図られることとなり、農地の流動化による農業振興が期待できる状況になってきた。
- 平成20年に実施された耕作放棄地全体調査を活かし農業振興を図るため、平成21年度に遊休農地の所有者を対象にしたアンケートを実施した。その結果により、遊休農地の貸し出し可能地を特定し、貸し借りマッチングの促進を図るとともに、農業を始める人のための研修会を開催し、遊休農地の復旧を図った。

事業内容

- 農業へ取り組むきっかけづくりとして研修農園の実施
 - ・約30㎡を22区画整備
 - ・受講者数22組(48人)
 季節にあわせ全14回の講習会を開催
- 遊休農地解消に向けた取り組み
 - ・トラクターの購入により農地復旧を実施
 - ・農地の貸し借りマッチングにより貸借関係の促進



【 研修農園での研修 】

事業効果

- 研修農園受講者の今後の耕作予定
 - ①「遊休農地貸借促進事業」により農地を借りての耕作 8組
 - ②修了生専用の栽培区画(市民農園)での耕作 11組
 - ③自己所有地での耕作 3組
- 遊休農地の解消(357a)
 - ①農地貸し借りマッチングによるもの 237a
 - ②研修農園開設によるもの 30a
 - ③アマワラビ栽培モデルほ場開設によるもの 20a
 - ④市民農園開設によるもの 40a
 - ⑤区民農園開設によるもの 30a



【 トラクターでの復旧 】

工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

- 研修農園での講習は、参加しやすいよう休日・平日の2日間開催し、継続して農業ができるように土作りの講習も行った。また、実習だけでなく知識の習得の学科講習会を行い、研修終了後も農地の斡旋や耕作相談を継続して行っている。
- 貸し借りが成立した農地や農地所有者による耕作再開の目途がたった農地は、農業委員が耕作支援のためにトラクターを活用して耕起支援を行った。
- 農地を貸したい方と借りたい方を一同に集め「農地貸し借り相談会」を開催して、お互いの顔が見える安心な農地貸し借りを促進した。

【選定のポイント】

研修農園による市民の農業参加へのきっかけづくりや農地の貸借関係の促進が図られ、遊休農地の復旧のための耕作しやすい環境づくりが行われた。

団体名 岡谷市(農林水産課)	事業タイプ	ハード事業
連絡先 電話 0266-23-4811	事業費	5,261,832円
	支援金額	2,462,000円